

助成事業実施報告書

団体名 みんなで減災し隊!
代表者・役職名 氏名 代表 中村伸一郎

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「災害から子どもたちの命を守る学校」事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

東日本大震災や熊本地震による大きな被害を知り、「自分たちの住む町にはどんな危険が潜んでいるのだろうか?」と調べた結果、直下に断層があることがわかった。また、隣接する丹波市では2014年に豪雨災害があり、大規模な土砂災害が発生し、備えが大切だと感じた。そこで2016年5月、防災士3名と子育て中の母親1名で気軽に参加でき、災害を学び備えるための学習会を始めることとした。(現在スタッフは6名)

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子育て中の母親に向けて防災・減災の啓発活動を行い、自らの命そして家族の命を災害から守ることができる知識を身につけてもらい、各家庭で災害への備えを充実してもらう。
丹波篠山市の高齢化率は兵庫県平均を上回り30%を超えている。地域柄、兼業農家の率も高いため、若者や父親は仕事で日中不在となる家が多く、母親が子どもたちや高齢者など家族を守らなければならない現状がある。母親たちが学び備えることは、子どもたちを守るだけでなく、地域全体の防災力アップにつながる。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部の講習会は内容変更または中止した。また、緊急事態宣言発令に伴い、一部開催時期を変更した。
2020.9 学習会「身近な災害と日頃の備え」→予定通り開催。
2020.10 学習会「在宅避難?それとも避難所へ行く?」→予定通り開催。
2020.11 減災カフェ&わが家の備え自慢→「避難ママの話を聞こう」に内容を変更。
2021.1 やさしくわかる原子力災害講座→緊急事態宣言発令に伴い、7月に時期変更。
2021.3 パッククッキング講習会→中止。
2021.5 学習会「子どもの応急手当、救命措置」→訓練人形を共用するため、「新しい防災マップを学ぼう」に内容変更
2021.7 バスツアー研修『過去の災害に学ぶ』→予定通り開催。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」
内容変更や中止があったものの、6回の学習会とバスツアー研修を開催。一部の学習会は午前と夜間にわけて実施し、参加人数は各回8~11人となった。
「成果」

学習会の参加者は、毎回異なるテーマを設定したことで様々な災害とその備えについて広く学ぶことができた。そのことは各家庭の備えにつながった。

また、助成金で2,000部制作させていただいた「たんばささやま親子防災ノート」は、丹波篠山の多くの親子に届いています。「すぐわかりやすい」と評価をいただき、それぞれの家族が災害に備えることに確実に繋がっている。

「効果」

活動を継続できたことで認知度がアップし、市内の行政や施設から訓練への出展依頼、高校から防災授業の依頼が増えている。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

当団体に限らず、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人を集める活動を展開しづらい状況にある。災害時に大切な食について伝えることが特に難しく、今回のプロジェクトでは中止とした。コロナ収束時にはしっかりと伝えていきたい。

2021年7月24日、丹波篠山市中心部の住宅密集地で2,000㎡が焼失する大規模な火災があった。市として初めての大きな災害であり、行政の対応は早かったものの、事前の備えが十分とは言えず混乱した。火災に限らず地震や豪雨など、災害発生時に市民団体だからこそできることがあるはず。防災・災害協定を締結するなど連携を深めていきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし